

VACRON

4G 熊認識ネットカメラ

取扱説明書

使用上の注意事項

使用前にお読みください

本ユーザーソフトウェア/ハードウェア規約は、使用者（個人または端末）と当社との間に法的効力を有します。
本規約には、関連するソフトウェア/ハードウェアのコンポーネント、メディア、印刷物、およびオンライン配信されるファイルが含まれます。
インストール、コピーまたは他の方法で本規約に含まれる製品の使用は、本規約を遵守しなくてはなりません。
本規約に同意いただけない場合は、製品のインストールおよび使用を行わないでください。
本製品は、著作権法および国際著作権条約、ならびにその他の知的財産権に関する法律および条約の保護を受けています。
規約は使用許諾であり、販売ではないことにご留意ください。
使用許諾契約書上のソフト/ハードウェア許諾コードをもって使用を許諾します。

・ 版權 ・

当社は全てのタイトル、版權、ソフト/ハードウェア製品及びあらゆるコピーを保有します。
当社は明確に許諾していないあらゆる権利を保有します。

・ 免責事項 ・

製品保証以外の承諾は、一切認めません。
当社は、本製品および関連するドキュメント（当社または第三者による改変の有無を問わず）に関し、明示的または黙示的ないかなる保証を行いません。

条約および条件

ソフトウェア/ハードウェアの使用および性能に伴い、リスクが発生する可能性があります。
本製品は、特定の設備やハードウェアと組み合わせて使用することにより、監視行為やデータ処理が可能となる場合があります。これらの行為は、プライバシー保護に関する法律によって制限されたり、違法と判断される可能性があります。
製品の使用方法が法令に抵触した場合、その責任はすべて使用者に帰属することにご留意ください。

・ 責任制限 ・

本規約は、法律が許容する範囲で適用されます。
如何なる状況においても、その販売店は特殊な、偶発的な、間接的な原因（商業利益の損失、業務中断、商業データ損失、そのた金銭的な損失の賠償を含む）でソフトウェア製品が使用不能な状況を適切にサポートします。
当会社がこの手の損害の可能性を知らされた場合においても同様です。
故意や重大な過失がなければ、本規約における責任は、製品の金額に限られます。

・ その他の条約 ・

- (A) ソフトウェア/ハードウェア製品のいかなる部分についても、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または分解することを禁止します。
- (B) 本規約の条項に同意し、それを遵守している限りにおいて、本製品の使用权を永久に第三者へ譲渡することが可能です。

・ 終わりに ・

他の権利が制限されることなく、当社は本規約契約を終了させる権利を有します。
本規約の条項および条件に違反した場合、ソフトウェア製品のすべての複製物を破棄しなければなりません。

使用上の注意事項

警告

- ・湿度の高い、直射日光、高温または密閉した環境で本体の設置を行わないでください。
システムの効率低下、漏電または災害の恐れがあります。
- ・濡れた手で電源ケーブル及びプラグ、コンセントに触らないでください。
感電する恐れがあります。
- ・電源ケーブルを曲げたり、上に重量物を置かないでください。
人や機材が損傷する恐れがあります。
- ・破損またはプラグのない電源ケーブルを使わないでください。
感電などの事故に繋がる恐れがあります。
- ・独立した電源を使用し、他の電器とコンセントを共有させないでください。
感電などの事故に繋がる恐れがあります。
- ・自分で解体、改造またはメンテナンスをしないでください。
感電などの事故に繋がる恐れがあります。
メンテナンスの必要があれば、販売店にお問い合わせください。
- ・電器の筐体を開けたり、ものを差し込まないでください。
感電などの事故に繋がる恐れがあります。
- ・本体が持つもの以外のケーブルで接続しないでください。
メンテナンスの必要があれば、販売店にお問い合わせください。

注意

- ・電器を斜めや平らじゃない場所に置かないでください。
動作効率の低下やエラーに繋がる恐れがあります。
- ・録画中は本体に振動を与えたり揺らさないでください。
本体やICの破損に繋がる恐れがあります。

その他の製品情報はVACRON公式サイトにてご確認ください

	注 意 起動の際電圧をご確認ください。	
---	--	--

目次

使用上の注意事項 -

A. Microsoft Edge ログイン 3

B. 状態説明 4

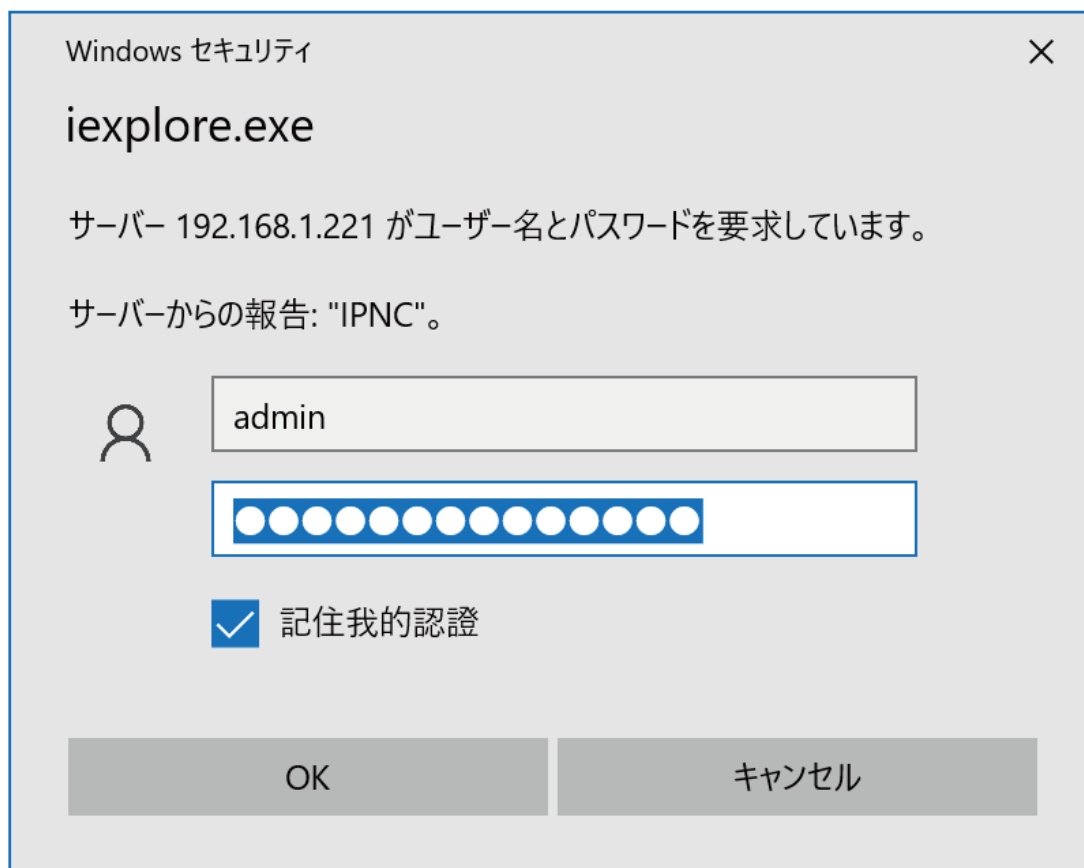
C. 設定説明 6

D. メンテナンス説明 18

A. Microsoft Edge ログイン

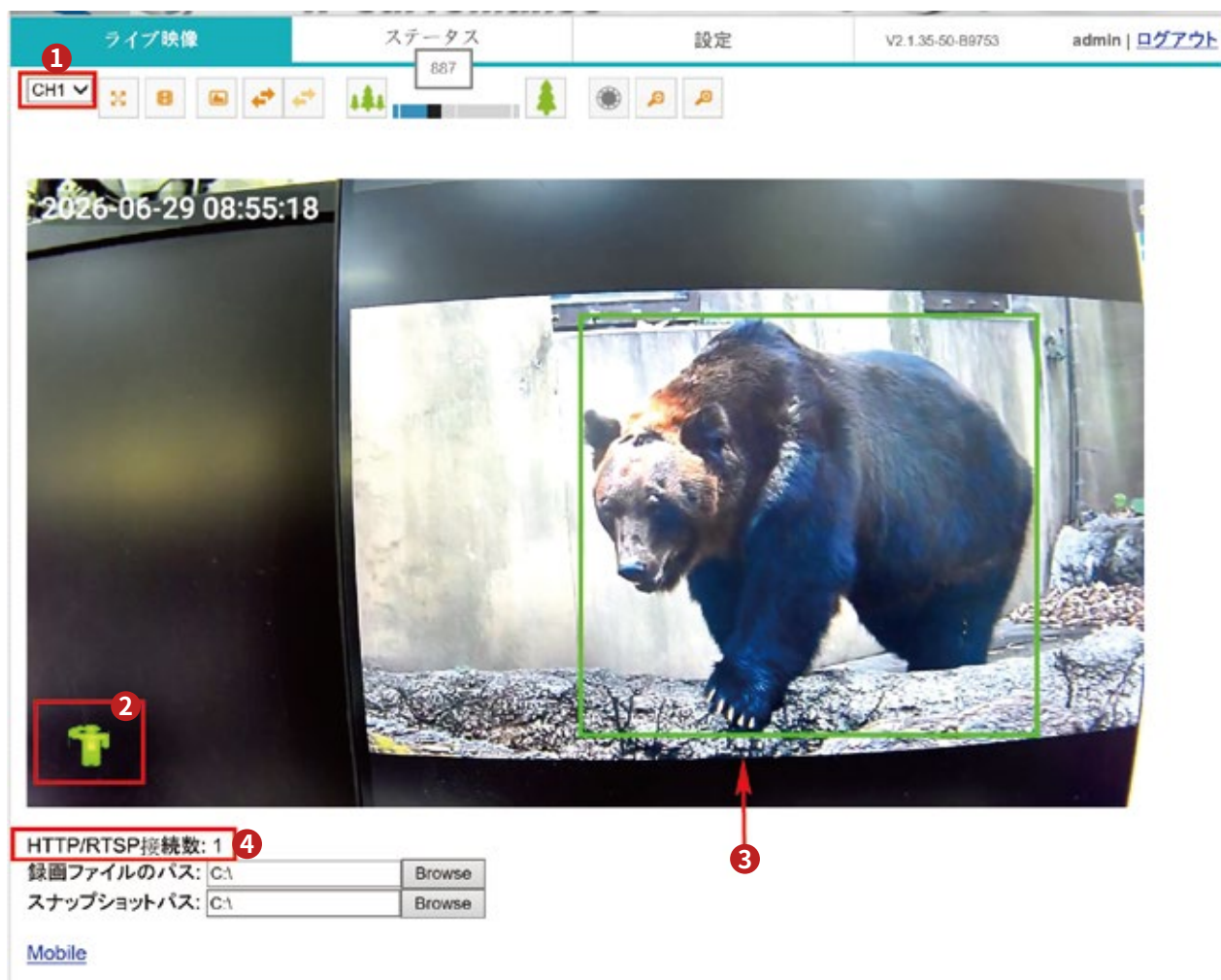
1. ログイン画面でのパスワード認証

ユーザーがIEのアドレスバーに該当カメラのIPアドレスを入力すると、カメラの設定ページおよび操作画面にアクセスするにはアカウントとパスワードの認証が必要です。デフォルトIPは192.168.1.221。アカウントとパスワードはadmin。



B. 状態説明

1. UI画面の機能説明



- ① ログイン後、画面左上でCH1～CH2を切り替えると、
各チャンネルのリアルタイムメインストリーム映像およびサブストリーム映像を表示できます。
- ② 画面左下の人物アイコンは、熊検知警報を示しています。
- ③ 矢印で示した箇所は、熊を検知した際に表示される緑色の検知枠(トラッキング枠)です。
- ④ LIVE画面の下部には、現在のHTTP/RTSP接続数が表示されます。
接続ユーザー数がIPカメラの上限値に達しているか、または超えているかを確認できます。

2. 情報ページでは、本製品のシステム情報や動作状態などの各種情報を確認できます。

カメラ	IPCAM
Model	VIN Series
Uboot Version	
Kernel Version	#1
Firmware Version	P1
Motor Lens	H
IVS LIB Version	F
IVS Module Version	LC_

IP	1
Netmask	2
Gateway	1
DNS	8
MAC	0

RTSP Stream 1 URL	rtsp:
RTSP Stream 2 URL	rtsp:

- (1) 情報ページは、以下の3つのエリアで構成されています。ファームウェアバージョン、本体IPアドレスとネットプロトコル情報。
- (2) ファームウェア項目にはUboot Version (起動ファーム)、Kernel Version (ベースファーム)、Firmware Version (ファームバージョン) の三つとLENS、IVS、CPU、DDRなどの情報があります。
- (3) 本体IPアドレス項目には現状設定されたIPアドレスとゲットウェイ、MACアドレスなどの情報があります。
- (4) カメラの「ネットプロトコル情報」に映像・音声のストリーミング情報 (例: RTSP、RTP、HTTP、ONVIFなど) が記載されている場合は、そのプロトコルに対応したプレーヤーで再生できます。
- (5) 本ページ左側の [Ping] を使用すると、カメラへPingを送信できます。カメラから応答 (Ping返信) が返ることを確認することで、ネットワーク通信が正常に行われているかをテストできます。
- (6) 本ページ左側の「システム記録」および「ログ情報」は、ヴァクロンRDへ提供する情報です。ネットワークカメラの動作状況を確認し、正常に動作しているかを判断する際に使用します。

C. 設定説明

カメラ	IPCAM		
-----	-------	--	--



Stream 1			
データの圧縮	H264 ▼		
解像度	1920 X 1080 ▼		
フレームレート	30 ▼ fps		
GOP [1 - 600]	30		
レートコントロール	VBR ▼		
ビットレート	4000 Kbps		
QP [0 - 51]	☒ InitQP	15	MinQP 15 MaxQP 40
設定データ	High ▼		
スナップショット 品質要素 [0 - 100]	75		

Stream 2			
データの圧縮	H264 ▼		
解像度	640 X 480 ▼		
フレームレート	20 ▼ fps		
GOP [1 - 600]	20		
レートコントロール	VBR ▼		
ビットレート	512 Kbps		
QP [0 - 51]	☒ InitQP	1	MinQP 1 MaxQP 40
設定データ	High ▼		
スナップショット 品質要素 [0 - 100]	75		

オーバーレー設定			
日付	☒ YYYY-MM-DD ▼	☒ 24Hrs ▼	white ▼ 左上 ▼
Stream 1 テキスト	☐		white ▼ 右下 ▼
Stream 2 テキスト	☐		white ▼ 右下 ▼
Background Color	black ▼ 25% ▼		

ビデオソース	
レイド	OFF ▼
Rotate	OFF ▼

取扱説明書

カメラ設定ページでは、該当カメラの映像に関する明るさやコントラストなどの光影に関する値を調整できます。

上図のように、設定は2つのエリアに分かれています。

上部はカメラのライブ映像が表示され、ストリームの解像度やビットレートなどの関連設定を行います。

下部はカメラの映像出力に関する追加機能設定が可能です。以下に各項目を順番に説明します。

- (1) カメラ名：ソフトウェアまたはNVRで表示・検索されるカメラ名を変更します。
カメラ名を分かりやすく設定することで、設置場所を識別しやすくなり、目的のカメラを容易に確認できます。
- (2) ストリーム：出力するストリームを選択します。
メインストリーム (Stream 1) とサブストリーム (Stream 2) の2種類から選択できます。
- (3) デコード：使用するデコード方式を選択します。初
期設定では、カメラのハードウェア性能に適したデコード方式が自動的に選択されます。
必要に応じて、H.264やH.265などのデコード方式を選択できます。
- (4) 解像度：ストリームを選択した後、用途やハードウェア性能に応じて解像度を設定できます。
選択可能な解像度には、1920×1080、1280×720、640×480などがあります。
- (5) フレームレート：カメラが1秒間に出力するフレーム数を設定します。
単位はFPS (Frames Per Second) です。
動画圧縮方式では、PフレームとIフレームを含む1秒間の総フレーム数を表します。
- (6) GOP：1秒あたりのIフレーム数を調整できます。FPSとGOPの設定に基づいて、
毎秒生成されるIフレーム数を計算し、他のNVRモデルにも適用可能です。これにより、
映像のカクつきや一時的な停止 (画面フリーズ) を低減できます。
- (7) ビットレート調整：VBR (可変ビットレート) またはCBR (固定ビットレート) を選択でき、
録画データの容量を削減できます。
- (8) ビットレート値：1秒あたりのフレームデータ量および画質に応じた容量を調整します。単位はKbpsです。
- (9) QP：H.264およびH.265のエンコード処理において、画質とデータ容量を制御する量子化パラメータです。
QP値が小さいほど画質は高くなりますが、データ容量は大きくなります。一方、
QP値が大きいほど圧縮率が高くなり、データ容量を削減できますが、画質は低下します。
- (10) OSD表示機能：日付、時刻、文字情報をカメラ映像上に表示し、
録画時には映像データとともに保存できます。ユーザーは録画映像を再生する際、
撮影日時をすぐに確認できます。
日付表示形式は、年月日・月日年・日月年の3種類に対応しています。
時刻表示は24時間制および12時間制を選択可能です。文字表示は最大32ビット、
16文字まで対応しています。
表示位置は画面の左上・左下・右上・右下に設定でき、上下方向の位置調整も可能です。
また、16色の文字色から選択できます。
- (11) 映像入力：カメラ取付時に上下逆さまに設置した場合でも、
映像のキャリブレーション (補正) が可能です。水平反転、垂直反転、
水平+垂直反転の3種類から選択できます。

1.AI熊認識設定

AI熊検知設定:AIによる熊認識機能を設定可能です。
熊を検出すると、自動的に警報を発報し、ユーザーへ通知できます。

スマート検知設定

Bear Detect Setting

Bear Detection

Target Recognition

☐ OFF ☒ On

Detection Threshold [0 - 100]

20

Detect Area

☒ 全画面 ☐ Specific Area

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日曜日																								
月曜日																								
火曜日																								
水曜日																								
木曜日																								
金曜日																								
土曜日																								

Interlocking setting

持続時間 [0 - 60 分]

0 分 5 秒

FTP経由アップロード

☒ OFF ☐ ON

サーバーポスト

☒ OFF ☐ HTTP GET ☐ HTTP POST

RS485

☒ OFF ☐ ON [baudrate:115200]

Report Via Platform

☒ OFF ☐ ON

IVS Module Info

Version

LC_BEAR_VER_005

受け入れる

リセット

デフォルト

- (1) Target Recognition: 熊認識オンオフ
- (2) 検知感度(しきい値): 設定値が低いほど熊を検出しやすくなりますが、誤検知の可能性が高くなります。設定値を高くすると、AIが熊の形状を高い精度(最大99%)で認識した場合にのみ検知します。
- (3) Detect Area: 検知エリア設定: 検知範囲は全画面または指定したエリアに設定できます。
- (4) 警報継続時間: 警報が作動する時間を設定できます。

2.設定説明

検知エリア設定：検知対象エリアを指定して設定できます。
設定したエリア内で熊を検出すると、警報を発報します。

Bear Detection	
Target Recognition	☐ OFF ☒ On
Detection Threshold [0 - 100]	20
Detect Area	☐ 全画面 ☒ Specific Area
	
AREA001 Reset Delete AREA002 Reset Delete AREA003 Reset Delete	

エリア調整：検知エリアを拡大または縮小する場合は、マウスで四隅のポイントを選択し、ドラッグ操作で範囲を調整できます。

検知エリア移動：検知エリアを移動する場合は、赤枠内をマウスの左ボタンでクリックし、そのままドラッグして移動できます。

3.カメラ設定

カメラ設定ページ：上部は光影調整に関する設定です。下部は追加機能の設定、シャッター制御エリアです。以下に項目順に説明します。

カメラ

IPCAM

感光パラメーター

2020-07-29 09:50:47



シーンモード	☒ Normal ☐ Starlight ☐ Day ☐ Night ☐ Indoor			
明るさ [0 - 200]	Day	100	Night	100
コントラスト [0 - 200]	Day	100	Night	100
彩度 [0 - 200]	Day	100	Night	100
シャープネス [0 - 200]	Day	100	Night	100
色合い [0 - 360]	Day	0	Night	0
DNR, [0 - 200]	Day	100	Night	100
BLC [0 - 4095]	R	256	Gr	256
			Gb	256
			B	256
フリッカーコントロール	☒ 60 Hz ☐ 50 Hz			
Night Color	☒ OFF ☐ ON			
Auto Adjust ISP	☐ OFF ☒ ON			
ホワイトバランス	☐ OFF ☒ ON			
WDR	☒ OFF ☐ AUTO ☐ 手動			
Defog	☒ OFF ☐ ON			
Digital Image Stabilization	☒ OFF ☐ ON			

電子シャッター		
☒ ダイナミック ☐ 静止		
Day	最小シャッター	1/100000 ▾ 秒
	最大シャッター	1/30 ▾ 秒
	Min. Gain [0 - 8192]	1
	最大ゲイン [0 - 8192]	4096
Night	最小シャッター	1/100000 ▾ 秒
	最大シャッター	1/30 ▾ 秒
	Min. Gain [0 - 8192]	1
	最大ゲイン [0 - 8192]	4096

IR 設定	
☒ AUTO ☐ スケジュール	
ライトセンサー検知	
IR Cut 確認	☐

プライバシーゾーン	
有効	☐

- (1) シーンモード: 使用環境に応じてシーンモードを切り替えることができます。
- (2) センサーパラメータ設定: 輝度、コントラスト、彩度、シャープネス、色調の各項目を調整できます。
各パラメータの設定範囲は0～255で、初期値(デフォルト値)は100です。
ユーザーは指定エリア内で各パラメータを調整できます。
- (3) ノイズキャンセリング: 周囲の環境に応じてパラメータを自動調整し、映像ノイズを低減できます。
- (4) BLC設定: 画面の赤・青・緑(RGB)カラー表示を調整できます。
- (5) 照明フリッカー抑制: 蛍光灯などの照明は、電源周波数(50Hz/60Hz)の影響により、
映像上にちらつきや縞状の模様が発生する場合があります。
デジタル映像ではフリッカーの発生頻度は低いですが、
複数の光源が重なる環境では発生する可能性があります。
設定値を調整することで、フリッカーを効果的に抑制できます。
- (6) Auto Adjust ISP: 自動調整機能のオン/オフを設定できます。
- (7) ホワイトバランス: 撮影環境によって色温度は異なるため、
ホワイトバランス機能を有効にすることで、色の偏りを補正し、自然な色合いに調整できます。
- (8) シャッター最大最小ゲイン: シャッター設定: シャッター速度を調整できます。
シャッター速度を遅くすると、暗い環境では映像が乱れる場合があります。
ゲイン値を調整することで、低照度時に不足する映像信号を増幅し、明るさを補正できます。
ゲイン設定範囲は0～8192です。値を大きくするほど信号増幅量が増加します。

- (9) 赤外線切り替え設定 (カスタムデイナイト切り替え) : 日中モードと夜間モードを切り替えることができます。

Light Sensor Detect

外部または内蔵の光センサーで明るさを検知し、モードを切り替えます。

特定のモデルではユーザーがルクス値を設定することもできます。

Schedule Mode

設定した時刻に基づき、自動的に昼夜モードを切り替えます。

IR Cut Confirm

IP CAM を使用すると、IP CAM がアクティブになってから 5 分ごとに、

3回連続してトリガーされるかどうかを IP マスクで判断できます。

- (10) プライバシーマスク (Privacy Mask) : OSDを使用して画面上の特定エリアに単色のボックスを表示し、プライバシー保護のためにその部分を隠すことができます。

4. 日付と時刻の設定

日付時間						
	年	月	日	時	分	秒
システム時間	2026	6	29	9	59	46
PC 時間	2026	6	29	9	59	46
手動						
タイムゾーン	+ 8 00					
タイムサーバーと同期	☐					
SNTP サーバー	!					
Sync. Interval Second [60 - 86400 秒]	86400					
自動に再起動	☐					
再起動の時間	0 : 0 : 0					
受け入れる リセット デフォルト						

- (1) 一時間設定: ユーザーが手動でPCの時間と同期させます。SNTP時刻校正の方式もありますが、インターネット環境や本体でSNTPサーバーの使用が必要です。

現地接続するカメラのタイムゾーンも設定できます。

- (2) 自動に再起動: デバイスが長く作動すると データパケットが溜まります。

装置を自動に再起動オンにすると設定した時間でズレの秒数を経たら再起動し、溜まったパケットを破棄することでカメラの安定性を確保します。

5. ネットワーク設定

ネットワーク	
IP	
DHCP ☐	ホストネーム
	MTU 1
固定IP ☒	IPアドレス 1
	サブネットマスク 2
	デフォルトゲートウェイ IP 1
	MTU 1
PPPoE ☐	PPPoE アカウント
	PPPoE パスワード *****
	パスワードの確認 *****
	MTU 1
3G/4G ☐	ユーザーネーム
	パスワード
	Dial *
	APN internet
DNS 設定 ☐ AUTO ☒ 手動	
優先 DNSサーバー 8	代替 DNSサーバー
Certificate	Load Create
LAN IP. 1	
サブネットマスク 2	
MAC	
本体MAC Address	00 復元
現時のMAC Address	
受け入れる リセット デフォルト	

- (1) インターネット設定: ユーザーがIEを通じてカメラのIPアドレスを変更可能、ローカルネットワークの構築やスイッチと組み合わせて使用もできます。
- (2) PPPoE: ユーザーがADSLなどの固定IPアカウントを使用して、直接インターネットに接続するための設定。外部からのアクセスが必要な場合、この機能で迅速な接続が可能です。
- (3) 4G: この機能を有効にすると、接続を4Gモードに変更し、チェックインしたサーバーをネットワークプロトコル経由で設定できます。
- (4) MAC: 製造元が製品の生産時期や機種の識別のために使用する情報です、弊社のIPCamSearcherソフトウェアを使用すると、デフォルトIPアドレスの状態にあるネットワークカメラを自動検索し、同一ネットワーク上で接続中のすべてのネットワークカメラを検出できます。

6.DDNS設定

DDNS

DDNSを登録	☐
サーバーアドレス	Vacron ▼ dns.cctvdvr.com.tw
ホストネーム	my-id.cctvdvr.com.tw
IDログイン	my-id
パスワード	
IP を自動検知	☒
中国語【簡体】 [60 - 3600 秒]	600
カスタマー	☐

受け入れる リセット デフォルト

(1) DDNS設定：DDNSはリダイレクトの一種です。

ユーザーがDDNSの新規登録を申し込んだ後 (Vacron の DDNSを利用したい時に担当営業員まで申し込み可能)、特定のドメインを取得できます。

遠隔地にあるユーザーが本体ドメインを入力すれば申し込んだIPアドレスにリダイレクトできます。

現段階ではDyDNS、NO-IP & Vacron の DDNSが利用できます。

7.ネットワークプロトコル構成

ネットワークプロトコル

最大ストリーム接続数 [0 - 20]		16
---------------------	--	----

HTTP

HTTPポート [1 - 65535]	8
HttpsEnable	☐
HTTPS Port [1 - 65535]	4
NVRの設定パラメータと同期	任意 v 指定 IP
ONVIF 有効	☒
最大HTTP接続数 [0 - 20]	1

RTSP

RTSP Enable	☒
RTSP ポート [1 - 65535]	5
映像バケットサイズ [1400 - 8192]	1
接続状態保持信号の確認	☐
RTSP認証	☐
最大RTSP接続数 [0 - 20]	1

Platform

有効	☐
サーバーアドレス	g
ポート	1
装置ID	l

SMTP サーバー

SMTP サーバー		ポート	25
ユーザーネーム		TLS/SSL	☐
パスワード	*****	パスワードの確認	*****
サーバー検証を要求	☐		
Email 送信者		Email レシーバー	

HTTP Server

HTTP Server		ポート	80
ユーザーネーム			
パスワード	*****	パスワードの確認	*****
Path Motion			
Path IVA			

- (1) 最大接続ストリーム数:この項目は、カメラに接続できる同時ストリーム数を制限する設定です。

カメラの安定動作を維持するために、過度な接続による負荷を防止します。

- (2) HTTP:HTTPに関連するネットワークプロトコルの設定に関する項目です。

HTTPポート(サーバーポート):ユーザーがカメラを変更するための対応するポート番号が表示されます。

シーンドメイン仕様に合わせて、同じ IP カメラに異なるポート番号を設定することも、

IP スイッチの方向に外部からポート番号を設定することもできます。

NVRからの設定パラメータの受信:このオプションは、

接続されたカメラがコマンドパケットを受け入れるバックエンドシステムまたはIPを設

定してパラメーターを作成するかどうかをユーザーが構成できるようにする変更動作を提供します。

ONVIFプロトコルに基づく制御コマンドを受信するかどうかの設定です。初期設定はON(有効)です。

HTTP 接続の最大数:ユーザー定義の Http の最大接続数を指定し、

すべての接続が Http または Rtp プロトコルによって完全に占有されるのを防ぐ。

- (3) RTSP: Rtp の関連ネットワークプロトコル用に設定されています。

RTSPサーバーポート:Onvif のプロトコル組み込みチャンネルは 554 です。このフィールドでは、

ユーザーはカメラの対応するポート番号を変更できます。この番号は、

他のメーカーのプロトコルで変更できます。

ビデオパケットサイズ:RTSP に送信されるイメージパケットのユニフォームサイズを示します。

RTSP接続確認:このオプションをオンにすると、

カメラソフトウェアが定期的に Rtp プロトコル接続を検出し、ログで接続状態を確認できます。

RTSP 認証:このフィールドには、ユーザーがパスワード認証を使用

してバックグラウンドホストまたは接続ホストに入力できます。

HTTP 接続の最大数:ユーザー定義の Http の最大接続数を指定し、

すべての接続が Http または Rtp プロトコルによって完全に占有されるのを防ぐ。

- (4) Platform:サーバ (4G) レポートを起動および制御する機能です。

カメラの画像は外部ネットワーク経由で送信できます。この機能は、ネットワークに個別に接続していて、

4Gサーバーの設定が必要なユーザーのみが使用できます。

- (5) FTP サーバー:FTPは独自のアーキテクチャ、つまりカメラ側とサーバー側です、

ホスト型アーキテクチャを実行するには、コンソールから FTP サーバーを開く必要があります、

Client Camera フィールドに設定したサーバーの URL を入力すると、

監視スクリーンショットをバックアップとして FTP に送信できます。

一方、ユーザーは [アップロード間隔] フィールドに、一度にキャプチャする画像の秒数を入力できます。

- (6) メールサーバー:SMTP はシンプルなメール転送プロトコルです、また、

インターネット経由で電子メールを送信するための一般的な標準でもあります。

カメラのセットアップが完了したら、アラームのトリガーや、

アラームの結果としてカメラがキャプチャした画像を設定メールボックスに送信できます。

8.アラーム設定

アラーム

#	有効	スケジュール	から	まで
1	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
2	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
3	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
4	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
5	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
6	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
7	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼
8	☐	毎日 ▼	0 ▼ : 0 ▼	0 ▼ : 0 ▼

ネットワークの断線

ビデオロス検知

ネットワークの断線

アラーム有効	☒ OFF ☐ Continuous ☐ Single
アラームの持続時間 [0 - 60 分]	0 分 30 秒

Interlocking setting

受け入れる

リセット

デフォルト

- (1) 録画スケジュール: カメラにmicroSDカードを装着すると、録画スケジュール機能を利用できます。メニューから曜日ごと、または毎日の録画スケジュールを設定することで、指定した開始時刻から終了時刻までmicroSDカードへ循環録画(上書き録画)を行えます。ファイルは弊社の録画ファイルは隠しパーティションモードで処理され、カメラが突然電源オフになった場合でも、録画内容の完全性は保持されます。

D. メンテナンス説明

1. ユーザーアカウント説明

ユーザーアカウント			
adminユーザーネーム	admin		
adminパスワード	*****	パスワードの確認	*****
操作者ユーザーネーム	user		
操作者パスワード	*****	パスワードの確認	*****
ビューアユーザーネーム	viewer		
ビューアパスワード	*****	パスワードの確認	*****
受け入れる リセット デフォルト			

(1) アカウント管理: ユーザーアカウントは3種類の権限レベルに対応しています。

管理者 (Administrator) : IEブラウザの管理画面ですべての設定および操作を行えます。

一般ユーザー (Operator) : アカウント管理を除く各種設定および操作を行えます。

閲覧ユーザー (Viewer) : ライブ映像の表示および録画映像の再生のみ行えます。

2. メモリーカード説明

ライブ映像	SD カード	ステータス	設定	V2.1.35-60-B9753	admin ログアウト
メモリのファイルリスト					
#	開始時間	終了時間	持続時間	タイプ	
1	2026-06-29 10:24:06	2026-06-29 10:25:24	00:01:18 Download	0	
☐ フォーマット					フォーマット

(1) 内蔵メモリーカード (microSDカード)

カメラにメモリーカードを装着すると、初回起動時に自動的にフォーマットが実行され、同時に隠しパーティションが作成されます。フォーマット完了後は、メモリーカードへ録画を開始できます。

保存された録画ファイルは本ページで一覧表示されます。

録画ファイルは直接ダウンロードしてバックアップできるほか、録画時刻をクリックすると、IEブラウザ上で再生できます。

また、本ページからメモリーカードを再フォーマットすることも可能です。

3. 設定ファイル説明

設定データ	
設定データ保存	
設定データ	保存
設定データ読込	
☒ 設定データ読込	選択檔案 沒有選擇檔案
☐ 工場出荷状態	
☐ ネットワーク設定を変更しない	Restore

- (1) バックアップ設定：本機能では、現在の設定内容を Profile.bin ファイルとしてエクスポートできます。
エクスポートした設定ファイルを他のカメラへインポートすることで、
同一の設定を簡単に適用できます。
また、不具合が発生した場合は、Profile.bin ファイルを弊社へご提供いただくことで、
開発部門 (R&D) が同じ設定環境を再現し、原因調査や不具合解析を行うことができます。
- (2) システム設定の復元：本機能では、カメラのファームウェアを更新できます。
アップデート後は、最適化された設定パラメータを復元し、カメラを自動的に再起動します。
ネットワーク設定やIPアドレスなどの通信設定は保持されるため、
アップデート後に工場出荷時設定へ初期化されることなく、そのまま運用を継続できます。"

4. ファームウェア更新説明

ファームウェア更新	
Please use NT98526_FP02028_imx662_P1105_XXXXX.bin	
ファームウェアファイルのアップロード	選択檔案 沒有選擇檔案 更新

- (1) ファームウェアのダウンロード：最新のファームウェアは弊社公式サイトで提供しています。
ユーザーはファームウェアダウンロードページから最新バージョンをダウンロードし、
本機能を使用して更新できます。

5.再起動説明

再起動

☐ 再起動

システムを再起動

受け入れる

(1) 再起動:カメラを操作し再起動、再起動をクリックする、所要時間は50秒。

6.言語(Language)

言語

言語
Language

日本語 ▼

受け入れる/Accept リセット/Reset

(1) 言語設定:本ページから表示言語を切り替えることができます。11か国語に対応しており、ユーザーは用途に応じて操作画面の言語を変更できます。
また、ユーザーのご要望に応じて対応言語を追加することも可能です。



<https://www.vacron.com.tw>

Made in Taiwan
